

2022 年度第 4 回支部集会【中国支部】 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会
開催日：2023 年 2 月 4 日（土）13：00-16：00
会場：オンライン（Zoom）
参加人数：41 名（会員 28 名・一般 13 名）

2022 年度第 4 回支部集会【中国支部】を 2 月 4 日（土）にオンラインにて開催しました。中国地区だけでなく、全国各地、また海外からも、テーマにご関心のある 41 名にご参加いただきました。

まず、鳥取大学の池田玲子氏に「ピア・ラーニングの理論と実践～教室での実践に向けて」というタイトルでご講演いただきました。講演では、協働学習を支える理論や考え方、池田氏が共同代表として立ち上げた「協働実践研究会」と、その活動によってどのようにピア・ラーニングの意義を世界各国の日本語教師に伝えてきたか、そして最近のケース学習の開発と実践に至るまで、具体的な事例を交えてお話しいただきました。

次に、「対話のひろば」と題したグループトークのセッションを設けました。講師の池田氏にいただいた 2 つのお題（「話し合いで学生から出たさまざまな意見を、教師はどうまとめて終わったらいいか」、「日本語能力の高い学生が低い学生とのグループ学習をいやがるが、どうしたらいいか」）のうちひとつを選んで、3～4 人のグループで話し合ってもらいました。参加者の教育現場やピア・ラーニングの実践経験はさまざまでしたが、活発な議論が行われました。議論の内容をインターネット上の共有スライドに記録し、全体共有の際にそれを見ながら各グループの代表者に発表してもらいました。それぞれのグループに対し、池田氏から同意や励まし、提案など、前向きなコメントをいただきました。

最後に口頭発表を一件行いました。口頭発表のテーマもピア・ラーニングに関するものだったこともあり、引き続き多くの方がご参加くださり、熱心な質疑応答が行われました。

事後アンケートには、「これからピア・ラーニングに取り組んでいきたいと思います」、「グループでの話し合いで有意義なヒントをいただきました」、「日々の授業を改めて振り返らなければと感じました」などのコメントが寄せられ、多くの方が今回の支部集会に満足したと回答してくださいました。ご参加くださった皆さま、ご協力くださった皆さまに、この場を借りて心より感謝申し上げます。



（報告者：支部活動委員 御館久里恵・永井涼子・中東靖恵）